

## 足助・大蔵自治区 ～ 大地震に備えての歩く防災訓練！ ～

「大地震を想定して避難所まで歩いてみて、課題をみんなで確認したい」…そんな思いから、8月27日(土)大蔵小学校で、大蔵自治区 環境防災部主催の防災訓練があり、MYパワーは運営協力しました。

9自治会の防災部員など計20名は、各集落から避難所の大蔵小学校まで歩いて集合。その道中で、地震時に危険となりそうな場所を写真に撮り、そのデータを地図上で共有しました。

「1時間23分もかかると思わなかった」「足が不自由な方はもっと時間がかかるはず」「鳥居や大きな看板など、歩くことで危険な場所に気づけた」などの感想があがりました。



その後、MYパワー代表(足助病院名誉院長)の早川から「普段薬を飲まれている方は、避難時のことも考えて最低でも3日分の薬を確保しておいてほしい」とお話がありました。

防災部長の鈴木恭二さんは、「市からの救援は地震発生後3日後以降になることが多い」「物資も避難所までしか届かないことが多い」「だからこそ、自治会でも避難用具の準備を進めてほしい」と訴えました。また訓練後には「この大蔵の取組みをキッカケに、他の自治区でも同じような訓練が行われると嬉しい」と仰っていました。

MYパワーは今回、防災の分野で協力を行いました。分野は問わず今後も地域からの要望にできる限り応えていきたいと考えています。(地域課題解決部:庄司)

## 山里レシピ 収穫したサツマイモ、余ってませんか？

もちもち★ さつまいももち



ここがポイント!

材料(6個分)

サツマイモ 170g、有塩バター 適量、ごま 少々  
 (A) 片栗粉 大さじ2、砂糖 大さじ1、牛乳 大さじ2~3  
 (B) 醤油 大さじ2、みりん 大さじ2、砂糖 大さじ1

- ① サツマイモの皮をむいて輪切りし、5分ほど水にさらしてアクを抜き、水気を切る。
- ② ①を蒸し、蒸らし終わったらフォークで細かく滑らかになるまでつぶす。
- ③ (A)を加えてよく混ぜ合わせ、まとまってきたらスプーンですくい、手で丸くする。
- ④ 熱したフライパンに有塩バターをひき、③を弱火～中火でゆっくり加熱。両面に焼き色をつける。
- ⑤ ④をフライパンから出し(B)を入れ、とろみができるまで中火で加熱。盛りつけて⑤をかけて完成!



株式会社 三河の山里コミュニティパワー

〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20 足助病院内(サテライト・サロン)

Tel.0565-61-2773(たすけあいプロジェクト事務局) Fax.0565-61-2772

http://www.my-power.jp E-mail:info@my-power.jp



2022 秋号 vol.10

株三河の山里コミュニティパワー 発行

MYパワーは  
地域の課題解決と  
地域内経済循環を  
目的とした地域会社です。



大学生インターンを受入れました

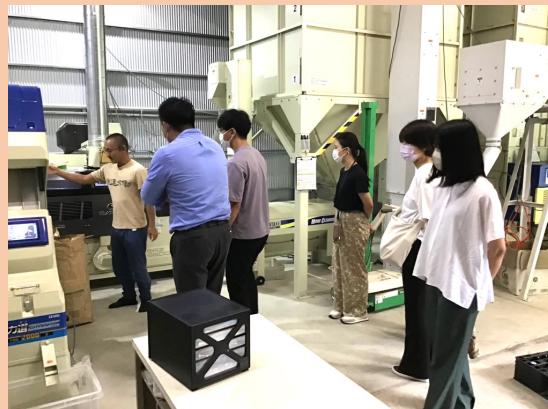
2022年9月4日～2022年9月9日の6日間、MYパワーでは大学生インターンの受け入れを行いました！フレッシュな若手が期間限定で加わり、メンバー一同大変刺激を受けました。

参加してくれたメンバーは、関西大学政策創造学部の徳丸ゼミの有志5名。福祉や経済の研究をきっかけにMYパワーの活動にも興味を持っていただいた意欲的な学生で、MYパワーと関わりのある地域や事業者さんを数多く訪問させていただきました。たくさんの方に貴重なお話をお伺いすることができました。

期間中ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



足助・大多賀水田の草取りお手伝い



旭・押井営農組合ライスセンター訪問



足助病院・高齢者口コモ体操に参加



足助・大蔵小学校での出張授業見学

6日間の滞在を終えた学生インターンの参加者は、「地域活性化といえば1つの会社だけが奮闘しているようなイメージだったが、いろいろな組織や団体が互いに協力して取り組むことが重要だとわかった」「地方に人が来るのは、魅力的な観光資源があるからだと思っていたけど、また会いたくなる人がいる地域が一番魅力的なんだと気づいた」など、新鮮な目線からそれぞれに学びを得ていました。

メンバーの一部は今後もMYパワーと関わりながら、地域での学びを生かして卒業研究を行ってくれる予定です。若者の目線が地域の良さや可能性をもっと広げてくれることに期待しながら今後もサポートしていきたいと思えます。（経営企画部：鈴木）

スタッフのひとこと

最近、スタッフが作ってくれる米粉のクッキーが美味しいんですよ～！食品の高騰が続いているので、みんなで地域のお米を食べましょう！（早川）

敷島・築羽自治区 ～ 毎日の支出額のほとんどは地域の外へ ～

昨年から今年にかけて計3回、旭地区敷島自治区・築羽自治区にお住いの合わせて約60世帯の方にご協力いただき、MYパワーを実施主体とした「家計調査」を実施しました。（図1）

調査にご協力いただけるよう、両自治区の区長さんや組長さんから住民の方々にお声がけをいただき、各世帯での食料品やエネルギーに関する支出について調査分析することができました。ご協力くださった全ての皆さまにお礼申し上げます。

ようやく結果がまとまり、年内には皆様に結果をお届けできそうです。今回は簡単にご紹介します。

この調査では、食品・エネルギーなどの支出についてお聞きしました。調査で得られた数値と、地域の世帯の形（3世代世帯、1人暮らし世帯など）の割合から敷島・築羽での上記支出項目について推計しています。

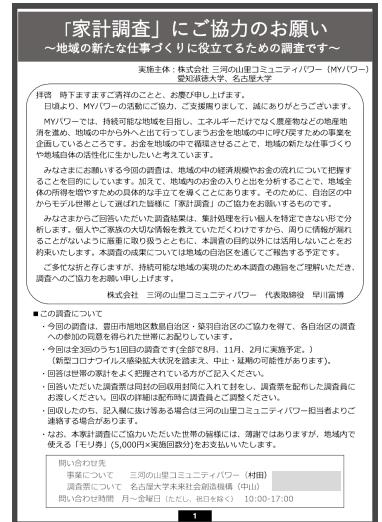


図1 調査票

敷島と築羽を合わせて、年間2.2億円のお金の流れがあり、その内【71.8%の1.6億円】が豊田市の街中（市内）や市外などに流出していることがわかりました。（図2）

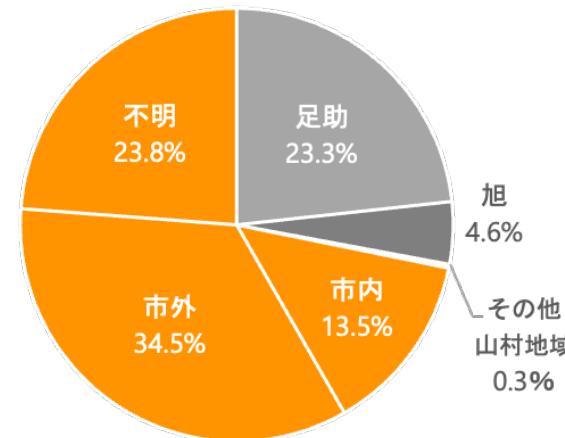


図2 地域別購入率（敷島+築羽）

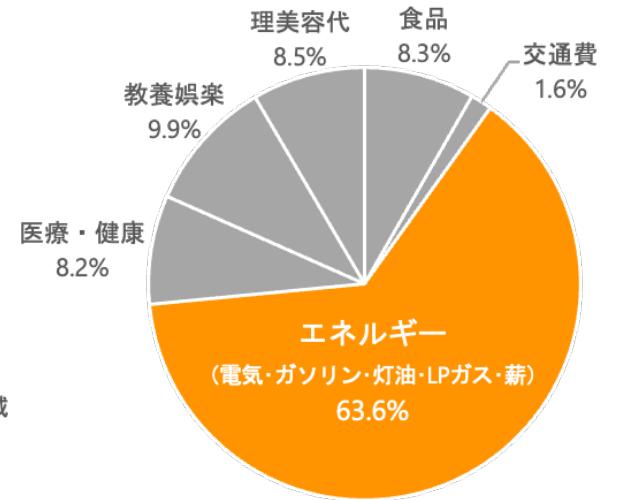


図3 この調査における支出項目別購入率（敷島+築羽）

また支出項目別にみると、エネルギーの割合が最も高く「63.6%」を占め、その額は【1.4億円】にもなります。（図3）

最終的な結果は敷島・築羽の地域別やもう少し細かい項目についてお知らせし、そのうちMYパワーのホームページにも掲載予定です。（名古屋大学 非常勤研究員：中山典子）

この結果から、敷島・築羽住民のおカネは「地域の外」に流れていること、特に電気やガソリン、灯油などのエネルギー費用として消費されている比率が高いことが数値として明らかになりました。この結果を受けて、MYパワーは引き続きエネルギー費用を地域内に留めて循環させていく取り組みとして、地域内での再エネ開発や電力切替、再エネ由来の電気自動車の普及等に努めていきます。

スタッフのひとこと

「たすけあい」「支え合い」「おたがいさま」。困っている人が気軽に「助けて」といえる場が大切ですね。そんな場を、地域で探りたいです！（村田）